

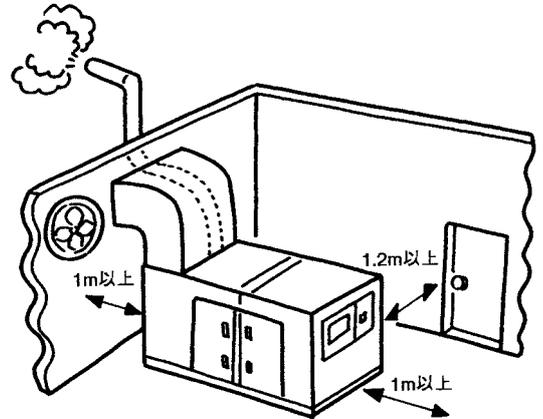


発電機の選定方法

発電機の容量について

設置要領

- 本機は、固い地盤上に水平に置いてください。
- 制御盤および燃料給油口側は、運転操作、燃料給油が行えるよう1m以上のスペースをとってください。
- 制御盤側より見て左右両面は、エンジン各部の点検、潤滑油の補給、負荷へのケーブル接続などの作業を行えるよう、約1.2m以上のスペースをとってください。
- 上面は、ラジエータを通して出る温かい空気（排風）と排気ガスが排出できるようにすると同時に、ラジエータへの給水作業に必要な広さが必要です。
- 砂ぼこりや塩分の多い所での運転は、ラジエータの目詰まりや故障、電装部品の絶縁不良の原因となりますので、保守、管理を十分行ってください。



モータ容量の範囲

電動機（モータ）などの負荷に対する発電機出力の選定は、モータ容量の範囲および発電機出力の早見表から簡単に決めることができます。

項目	形式	DCA-15		DCA-25		DCA-45		DCA-60		DCA-75		DCA-90		DCA-125	
周波数	Hz	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
E G 容量	kVA	12.5	15	20	25	37	45	50	60	65	75	75	90	100	125
モータ容量	直入始動	4	5	6.3	7.6	12.3	14.9	16	20.5	21.5	25	25	30.5	34.5	42.5
	Y-△始動①	6	7.5	9.5	11.4	18.5	22.4	24	30.8	32.3	37.5	37.5	45.8	51.8	63.8
	Y-△始動②	9.6	11.9	15.7	19.5	28.2	34.3	38.4	46	48.8	56.3	58	68	77	97

項目	形式	DCA-150		DCA-220		DCA-300		DCA-400		DCA-500		DCA-600		DCA-800	
周波数	Hz	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
E G 容量	kVA	125	150	200	220	270	300	350	400	450	500	550	600	700	800
モータ容量	直入始動	42.5	51	68	76	91	102	119	136	155	175	185	205	210	243
	Y-△始動①	63.8	76.5	102	114	136	153	179	204	233	263	278	308	315	365
	Y-△始動②	97	115	154	172	208	231	270	308	351	390	432	460	508	575

※上表のモータ使用例は目安値であり、要求される瞬時電圧降下、モータの負荷率、始動容量の大小またモータの新旧、効率の良悪で発電機容量が異なります。

注) ●モータ始動時の瞬時電圧降下を無負荷電圧の30%以内とします。 ●モータの始動kVAを1kWあたり7kVAとします。

●モータの効率85%、負荷率を約90%とします。

●ターボ付エンジンの負荷投入容量はエンジンの正味平均有効圧力に左右される場合があります。（モータ使用例および早見表の数値はターボ付の条件を考慮していません。）

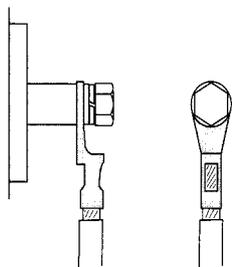
●Y-△始動①はオープン方式（Y-△方式）、②はクローズドY-△方式を示していますが、始動状態により必要発電機容量が異なります。

●非常用発電設備（特に防災用発電設備）の容量算定には適しません。 ●上表のモータ使用例は目安値であり、使用負荷やモータの特性により若干の変更が必要です。

※詳しくはP264をご覧ください。

据付方法について

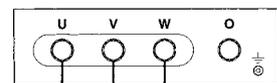
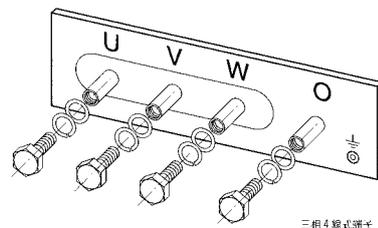
(1)三相4線式端子の締付方法



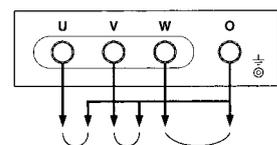
【注意】
負荷を接続する時は、締付ボルトをスパナなどで十分に締め付けてください。もし締め付けが不十分ですと、焼損の原因となります。

(2)三相4線式端子の負荷ケーブル接続方法

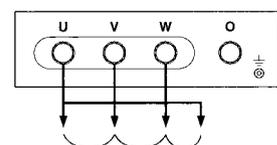
使用する負荷の相数と電圧を確認して接続してください。



三相負荷の場合
U,V,W使用
200/220V
または、400/440V



単相負荷の場合
O,U } 使用 115/127V
O,V }
O,W }
または、231/254V



単相負荷の場合
U,V } 使用 200/220V
V,W }
W,U }
または、400/440V

※アース（接地）についてはP265をご覧ください。